

国労東日本

港区新橋5-15-5
交通ビル4F

国労東日本本部

発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

2016年
9月16日

NO. 74-①

ダイジェスト版

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を訴えよう!
HP <http://www.e-nru.com/>

9月15日 申32号 「青年労働者の要求」【その1】で交渉開催

青年部 業務に必要な備品については
会社負担とすること。

業務上必要なものは設置しているが、**会社**
現状を確認して対応していきたい。

< 青年部 >

< 会社 >

[乗務員関係 (食事時間・乗務員トイレの設置問題)]

- 地方では一番短い昼時間では35分、移動を考えると実質20分である。「ゆとり」を求める声は多い。今後、ダイヤ改正等での見直しは?
- トイレに行くことで列車を止めることは勇気がいる事である。せめて折返し駅等には設置を求めたい。また、女性社員配属時に専用トイレが設置されていない。

- 食事については、稠密線区では朝30分、昼・夜は40分、一般線区では残念ながら取れない所もあるが、可能な限り確保していきたいので職場でも声を上げてほしい。
- 日頃からの体調管理と併せ、体調を第一に考えトイレに行っていただきたい。また、各支社では必要と認められる箇所には設置している。

[職場風土の改善 (業務に対する不安解消に向けて・サービス残業根絶に向けて)]

- 業務上の問題対策であってもマイプロありきの雰囲気を作られている、本来の趣旨とは違うのではないか。
- サービス残業の根絶は一致しているが、無くならない。労働時間に対する認識が浸透していない。同時に、仕事に対する思いもあり、管理者を含めた指導を求める。

- マイプロは社員一人ひとりが成長するチャンスで行っている、趣旨の再徹底をしていきたい。
- しっかりと教育はしているが、あるとすれば大変な問題。命令されていない時間外労働は悪いものであり、引き続き、会社も社員も一体で取り組むべきと考える。

[駅委託拡大による直外区分明確化]

- 駅の委託化が進む中で、異常時の対応等、乗務員含め教育はされているのか。

- 情報発信は進めているが、個別具体的には支社での対応となる。



港区新橋5-15-5
交通ビル4F
国労東日本本部
発行責任者 菊池忠志
編集責任者 樋口孝重

2016年
9月16日
NO. 74-②
ダイジェスト版

結びつき
つながり生かして
大胆に
国労加入を訴えよう！
HP <http://www.e-nru.com/>

9月15日 申32号 「青年労働者の要求」【その2】で交渉開催

青年部 女性の社会進出で共働きも増えている。子供に対する扶養手当の増額を！

まだ示せる段階ではないが、基準内賃金で
あることから、慎重に検討し判断していきたい。 **会社**

< 青年部 >

< 会社 >

[独身寮・カフェテリアプランについて]

- 年齢制限の撤廃を求めているが、出来ないのであれば、35才制限が作られた時と時代も変化しているので、年齢を少し引き上げてても良いのではないのか。
- 若い社員からすれば、ポイントの増を求める声は多い。消化率はどうなのか。また、消化率を上げる為の取り組みはされたのか。

- 意見があることは承知しているが、新入社員の育成と単身赴任者の受け入れの役割があり、限られた資源でありルールの中で活用していくしかない。
- 消化率は6割程度である。取り組みとしては、社外利用施設やレジャー施設の使用箇所等の追加を行った。引き続き、社員が使いやすい様な制度に向け、引き続き勉強をしていきたい。

[モニター制度の拡充]

- 新幹線モニターについて時間制限は見直しされたが、在来特急、例えば中央線や長野支社では篠ノ井線特急を利用している社員も多くいるが、拡充は検討されていないのか。

- 在来特急は、常磐線・奥羽本線・田沢湖線・羽越本線・信越本線で設定がされている。モニター制度の趣旨はご利用されるお客さまの立場に立って、利用状況を把握していくことにあるが、繁忙列車は難しく、そうした観点から選んでいる。声は受け止める。

[試験のフォロー]

- 試験結果の伝え方・フォローの仕方が丁寧でなく、本人の意欲をそぐような事象も発生している。丁寧なフォロー体制を求める。

- 弱点を克服するよう指導はしている。社員のモチベーションを下げてしまう事はあってはいけないので、引き続き指導していく。